

栃木県立博物館開館三十五周年記念特別企画展

「中世宇都宮氏 頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族」連携企画

『中世宇都宮氏と上三川』

中世宇都宮氏とは？

中世宇都宮氏は、平安時代の末期から戦国時代の終わりまで、400年以上にわたって現在の宇都宮市とその周辺を本拠に活躍した名門武士団です。

下野一宮・宇都宮明神(現在の「荒山神社」)の神職を務める一方で、その勇猛さから「坂東一の弓矢取り」とも評されました。

宇都宮氏は、関東を代表する名族として、源頼朝の鎌倉幕府、足利尊氏の室町幕府、そして豊臣秀吉の政権下でもそれぞれ重要な役割を演じています。

また、宇都宮氏は「和歌好き」としても知られ、5代頼綱は歌人藤原定家とも親交があり、『百人一首』にも歌を残しています。

かつて上三川町一帯は、宇都宮氏の一族が治めていました。町内にあった上三川城と多功城は、その領土南端の守りの要として築かれました。

今回、町では中世宇都宮氏ゆかりの地として、県立博物館企画展の趣旨に賛同し、左記の連携企画を実施します。

企画① 『中世宇都宮氏と上三川』展

役場市民ホールにて、上三川城の発掘資料や宇都宮氏と上三川にまつわる解説パネルを展示する企画展を開催します。また、中世宇都宮氏スタンプラリーのスタンプ設置場所になっています。9月1日(金)～10月31日(火)

企画② かみのかわ歴史ウォーク

町内にある宇都宮氏ゆかりの地を巡るウォーキングを開催します。申込等の詳細は35頁をご覧ください。

問い合わせ先

生涯学習課 生涯学習係

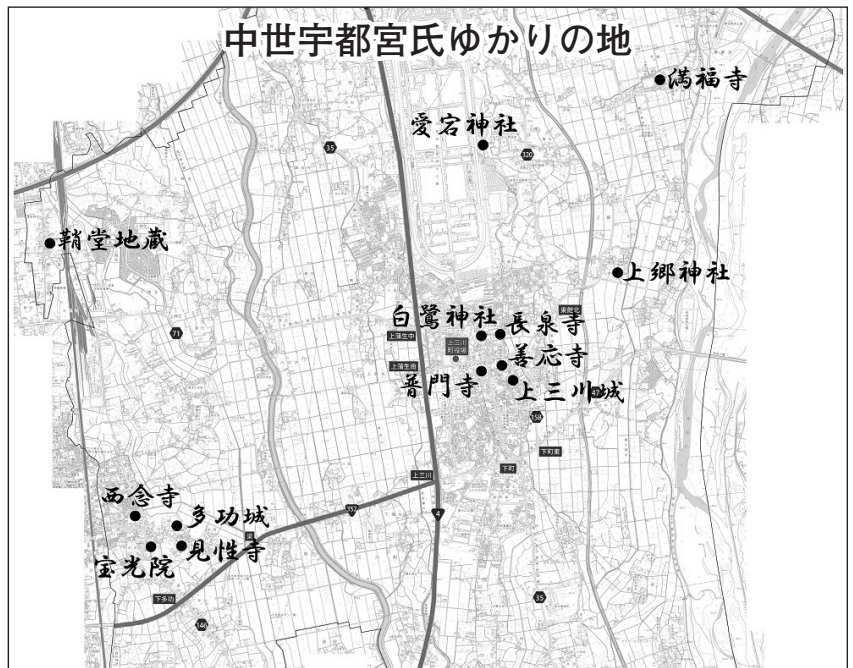
☎ 91-59



上三川城址公園



多功城跡の碑



栃木県立博物館開館三十五周年記念特別企画展「中世宇都宮氏 頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族」

- ▶ 会 期=9月16日(土)～10月29日(日) ※10月10日(火)のみ休館
 - ▶ 開館時間=午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 - ▶ 観 覧 料=一般1,200(1,000)円 高校・大学生600(500)円 中学生以下は無料 ()内は20名以上の団体またはM割料金。
- ※その他詳細は、栃木県立博物館に直接お問い合わせください。(☎028(634)1311)